



【検証】なぜ『眉山トンネル』だったのか？

残念ながら、今の日本は、地方と国は対等ではない。『眉山トンネル』を含む『島原中央道路』4.5キロは予算ベース240億円の大事業である。

もし何にでも使える一括交付金240億円だったら島原市はトンネルを掘っただろうか？「240億円相当の道路ならあげるけど現金は一文もあげません。要らないならよそにもって行きます。」と言われて地方は乞食に成り下がるしかないのだろうか。

「島原中央道路」は 国道251号のバイパスという位置づけだから、三けたの国道は県が担当するという基本ルール。

責任者の県（県職員）は 240億円もらっても、その分仕事と責任がついてくるだけ、頑張っても頑張らなくても給料は同じ、ならば国にやってもらおう。と、言うわけで「島原中央道路」は知事が国に丸投げして『権限代行』要請（お願い）をした。

国は国で、「島原深江道路」の仕事も終わったことだし、赤松谷の無人化工法事業だけでは（これもまた壮大な無駄遣いの批判があり）もたないから、「砂山の眉山にトンネルを掘るのは大変だろう俺たちにやらせろ！」と、どちらかと言うと国（国交省：復興事務所）が仕事を要求したものだとは僕は解釈している。

八郎潟を干拓してしまっ、行き場のなくなった農水省が、「今度は諫早湾を干拓させる。」と乗り込んできた構図と同じである。形式としては県の方が「農地が足りず、防災が大変だからお願いします」と要求した形をとっている。実は（工事等で直接利益のある者以外の）誰も干拓は望んでいない。「島原中央道路」（眉山トンネル）も同じ構図である。

「タダのトンネルが欲しくなければ、別にいいよ。そのお金（事業）は北海道でも群馬でも他に持って行くだけだ。」と、本心は温暖な気候と魚の美味しい島原でトンネル遊びをしたいくせに、弱みに付け込むのである。

心ある政治家（役人）は、「こんな無駄遣

いより、三会出平から愛野間の整備、長池三会線の萩原から南への延伸が先だ。」と分かっている。

普通の政治家、普通の役人はいないのか。楽な仕事をしたい役人と族議員族政治家の利害が一致して、結論はトンネル遊びだ。

湧水が心配な市民、眉山の崩壊を恐れる市民のことを考えれば（考えなくても）、今回の計画のトンネルは山をかすめて陸上競技場あたりを「あかり」で通すことの方が普通の発想だし、無理のない設計だ。

なぜトンネルか？トンネルでなければ（国が）県から仕事を取り上げる理由がなくなるからだ。

普通の高架と盛り土の道なら、県が担当しなければならない。「島原深江道路」のとき（国管轄の二桁国道57号が噴火で通れないから）57号のバイパスとして整備すると言った荒唐無稽な屁理屈が今回は通じない。「砂山にトンネル」という非常に高度な技術を要するため県には任せられないということだ。

「トンネル」は国が県から仕事を奪うための理由であって、島原の地域の事情や費用対効果が理由ではない。トンネルでなくても、いやトンネルでない方が安全で安くて、湧水を心配する市民や眉山の天狗様のタタリを恐れる市民にも納得の工事が出来るけれど、それでは国の出る幕がないという訳だ。

赤松谷の無人化工法も同様である。赤松谷は大変危険だから、国が特殊技術でやってください。と（警戒区域設定権者の）市長がお願いする形を取る構造も同じだ。リモコン遊びの次は砂場のトンネル遊びだ。